

～ご参加の皆さまへお願い～

- 市内探訪では、集合から解散まで統一行動となっています。
- 歩行中は一列又は二列で歩き、道路横断時などは交通安全に十分気を付けてください。
- 急坂、石段などありますので、足元に注意してください。
- 昆虫や植物などは採集しないで、カメラやスケッチに収めてください。
- 地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社や寺院などに伺いますので、失礼のないように注意してください。
- 弁当や菓子などのゴミは、各自お持ち帰りください。
- 記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。
- アンケートを取る場合がありますので、その時はご協力ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用・検温等にご協力ください。



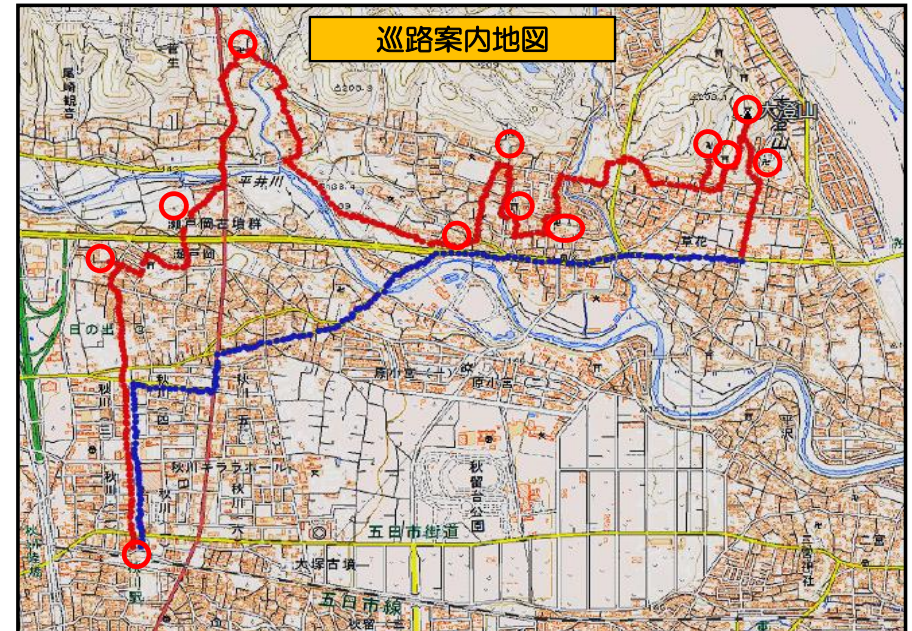
私たち市民解説員は、ふるさとあきる野を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆さまや市外から訪れる方々に紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることを嬉しく思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

企画・実施 担当市民解説員  
吉野清治・戸田正法・田口昭治・大澤夕希子  
桜井富美子・佐々木時男・小熊孝彦

東京文化財ウィーク2020・あきる野市参加企画事業

市民解説員が案内する市内探訪

## 「古の多西村を訪ねて」 ～平井川筋を歩く～



### 探訪巡路

JR秋川駅北口前集合(8:50)。☆⇒受付⇒バス(秋川駅⇒下草花)⇒  
①慈勝寺⇒②大澄山・展望台⇒③草花神社⇒④花蔵院⇒⑤大行寺⇒  
⑥小宮神社⇒⑦陽向寺⇒御堂会館・昼食。☆⇒⑧福泉寺⇒菅瀬橋⇒  
⑨都指定史跡・瀬戸岡古墳群⇒⑩瀬戸岡古墳群7号墳⇒  
JR秋川駅北口前着。アンケート回収・解散

令和2年11月11日  
あきる野市 中央公民館

① 福寿山 慈勝寺 (臨済宗 建長寺派)

フクシヨウ ジョウキョウ  
所在地：あきる野市草花1811番地  
創建：文治4年(1188)  
 富士重忠が伯母圓壽院の為に創建  
開基：圓壽院殿善通理體大禪定尼  
中興：永正2年(1505)  
 光厳寺13世貴山得和尚が再興  
 光厳寺末となる  
本尊：聖観世音菩薩  
沿革：天正18年(1590)八王子城落城の際、  
 兵火に遭い伽藍を焼失、古記録を失う  
建物：改築前の堂宇は貞享4年(1687)  
 の建立と推定  
朱印地：寺領13石  
見所：東京都指定天然記念物 モッコク

② 大澄山・展望台

ダイジョウサン・テホウダイ  
所在地：あきる野市草花  
標高：192メートル  
沿革：  
\*「新編武蔵風土記稿」では  
 下草花村 小名折立の条に「この所に御林  
 あり」と記載され、幕府直轄の御林奉行の  
 管理する所であった。  
\*明治維新後、官有財産から払い下げ共有林  
 となった。  
\*御林山を大澄山と命名したのは、折立に住  
 んでいた田中菊次郎氏という。  
\*国土地理院地図に大澄山と記入されている。  
\*展望絶佳、清澄の気満つると田中氏は言う。

③ 草花神社

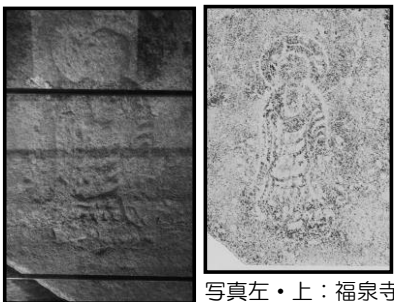
クワハナ ジョウガ  
所在地：あきる野市草花1787番地  
祭神：伊邪那岐命など6柱の神  
創建：不詳。  
沿革：明治2年まで十二天と称し、草花1476  
 番地の平地に鎮座していた。  
 焼失により同年9月に草花神社と改称、  
 更に、一村一社の達により折立・森山・  
 西ヶ谷戸・高瀬に鎮座の4社を合祀し、  
 現在地に祀った。  
 大正初期に各社分離となり、現在草花・  
 西ヶ谷戸の氏神として祀られている。  
見所：本殿の板彫り  
 右側面 張良と馬上の黄石公の図  
 左側面 潁川における巢父と許由の図

④ 草花山 花蔵院 (真言宗 豊山派)

クワハナ クワウイン  
所在地：あきる野市草花1740番地  
創建：弘長3年(1263)か4年(1264)  
開基：利栄上人  
開山：権大僧都法印清満上人(中興の人か)  
本尊：木造不動明王坐像で2童子侍立  
沿革：天正年間(1573~92)  
 北条氏照祈願所  
 元禄年間(1688~1704)  
 火災に遭い伽藍焼失、古記録を失う  
建物：山門 正徳3年(1713)建立  
 (平成9年の解体修理で判明)  
 二重垂木切妻造扉付(市指定文化財)  
朱印地：寺領5石

⑤ 鎮守山明王院 大行寺 (真言宗 豊山派)

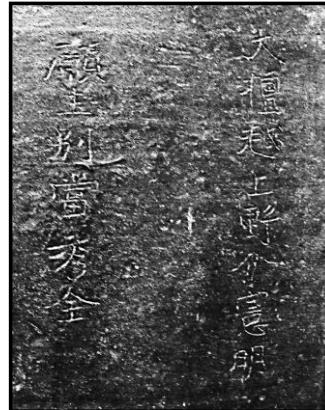
チンシュサン ミョウバウイン ダイコウジ  
所在地：あきる野市草花3036番地  
創建：建永2年(1207)  
開基：平山右衛門尉季重の祈願所  
中興：寛正年間(1460~1466)  
 小宮上野介憲明の祈願所  
開山：隆豊上人  
本尊：木造不動明王坐像  
沿革：大永年間(1521~1528)と  
 寛文年間(1661~1673)の  
 両度の火災により、古記録類を焼失  
朱印地：寺領13石 別当分7石 計20石  
坐像：空海と覚鑊の坐像、10体の真言列祖像  
什物：経切りからなる掛軸2軸  
 「弘法大師真筆」と「光明皇后真跡」



写真左・上：福泉寺の絵像板碑



写真上・左：  
小宮神社の梵鐘



写真左：瀬戸岡古墳群29号墳出土の直刀

⑥ 小宮神社

コミヤ ジョウガ  
所在地：あきる野市草花2981番地  
祭神：伊邪那岐大神(いざなぎのおおみかみ)  
創建：不詳。  
 一説によると承元元年(1204)に  
 平山季重が社殿を建立したと伝える。  
沿革：鎌倉時代の始め、小宮氏の氏神  
 室町時代、小宮上野介憲明の祈願所  
 寛正4年(1463)小宮上野介憲明、  
 梵鐘一口を奉納  
 その後、小宮氏に代わった大石氏、  
 さらに後北条氏が保護  
朱印地：社領7石  
梵鐘：国の重要美術工芸品  
 「大檀越上野介憲明と願主別當秀全」の銘

⑦ 華松山 陽向寺 (臨済宗 建長寺派)

カホウサン ヨウコウジ  
所在地：あきる野市草花2542番地  
創建：応永3年(1396)  
開基：小宮18騎の一人高尾伊予守  
開山：玉仲建瑠(けんしゅう) 禅師  
本尊：木造釈迦牟尼如来で2童子侍立  
沿革：一説によれば、初めは原小宮にあったの  
 を現在地に移転したと云う  
朱印地：寺領5石  
境外：草花2768番地  
 小宮久保・久保坂に地藏堂を有す  
 応永年間(1394~1428)  
 開山禅師創立と云う  
 本尊は、石彫の地藏菩薩で、  
 弘法大師、爪書きの作と云う。  
 尚、この地藏堂は経年劣化のため、現在  
 解体撤去され、本尊は陽向寺に仮安置

⑧ 金谷山 福泉寺 (臨済宗 建長寺派)

カナヤサン フクセンジ  
所在地：あきる野市菅生629  
開創：不詳  
開山：澤翁潤禅師(寂年不詳)  
 菅生太郎伝説と深いかわりのある寺で、  
 かなり古くからあった寺を、永禄4年  
 (1561)に広徳寺の住僧が、臨済宗に  
 改宗して中興したのではないかと想像  
本尊：釈迦牟尼如来坐像  
沿革：正徳年中(1711~15)に焼失  
 明和年間(1764~71)  
 10世天産祥和尚が復旧  
寺物：素焼きの禅師(4世山白了和尚)坐像  
 寛文11年(1671)辛亥7月10日  
 の銘あり  
絵像板碑：多摩郡の鎌倉期絵像板碑3基中最大  
 (市指定有形民俗文化財)

⑨ 都指定史跡・瀬戸岡古墳群

所在地：あきる野市瀬戸岡791番地他に50基  
 の古墳が分布。特に、岸野修一氏所有  
 地区内に広く残されている。  
築造時期：古墳時代の終末期  
 7世紀中頃~8世紀前半頃  
都指定史跡の指定理由：  
\*横穴式石室を構築する高塚古墳のみからなる  
 古墳群で、50基の古墳が分布する密集状況は、  
 後期古墳群の中で最大級である。  
\*都内における後期古墳群の調査の初期の事例で  
 ある。  
\*火葬骨器の共伴事例などの古墳研究史上、貴  
 重なものである。  
\*岸野修一氏の所有地は、昭和63年(1988)  
 歴史的遺産と一体となった自然の存する地域と  
 して「東京都歴史環境保全地域」に指定される

⑩ 瀬戸岡古墳群7号墳

所在：あきる野市瀬戸岡397番地先  
特徴：石室が露出保存され、石組を見られる。  
瀬戸岡古墳群の発掘の経緯：  
\*大正15年1月5日、瀬戸岡青年団の手によって、  
 初めて、瀬戸岡古墳の発掘が試みられた。斎藤  
 宗志郎著「多西村かすみの古墳を繞る史蹟」に  
 記述されている。  
\*昭和2年2月に鳥居龍藏氏、同年5月に後藤守  
 一氏の指導によって発掘調査が行われた。  
\*昭和25年に後藤守一氏・大塚初重氏等により  
 発掘調査が行われた。積石塚という点から朝鮮  
 からの渡来人の墳墓ではないかと推定された。  
\*平成9~11年にかけて、都道の新設工事に伴  
 い、30号墳の発掘調査が行われ、墓道が発見  
 されたことにより、竪穴式ではなく、横穴式石  
 室であることが明らかになる。